



JPI催しのご案内

 2012
5

公益社団法人日本包装技術協会

開催要領
会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 平成24年5月15日(火) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,150円(1部会、税込)

第1部 第192回生活者包装研究会

13:15~15:00

【テーマ】消費者から見た包装商品

“暮らしの包装商品展2011 in 新宿”に参加して、来場のお客さまにアンケートをお願いした結果を報告します。自分用に買う場合の包装と、贈り物用に買う場合の包装を選んでいただきました。ならべた商品は、当会員が市場から選んできたものです。どれもちょっと見所のある商品で、我が会員としては、苦労して探してきたモノと言えます。会場で、

ならべた商品を漠然と見ていただくには場が持たないので始めたアンケートですが、回をおって反省することが多々あり、せっかくの時間と労力を割くからには、参加していただくお客さまにも有意義な時間になってほしいと思っています。そして、企業・消費者ともに、より有効な包装に寄与できればと願っています。

【講師】 東京都地域消費者団体連絡会 代表委員

奥田明子氏

【コーディネーター】 (株)旭紙工 業務部 マネージャー 包装専士
味の素(株) グループ調達センター 専任課長 包装専士

 浦川英三氏
田屋昌亮氏

第2部 第192回包装資材研究会

15:15~17:00

【テーマ】食品の賞味期限延長技法 ~バリア包材・機能性包材の最新動向~

包装食品に美味しさと安全性が求められるが、一方、シェルフライフを出来るだけ長くさせたいというニーズもある。このため、食品包装技術と包装材料に高度な要求特性が求められている。このような状況の中、種々の機能性包装材料と包装技術の開発が進められている。機能性包装材料としては、パッシブバリア材やアクティブバリア材が重要である。本講演では、下記の項目を中心に、機能性包装材料の最新技術動向とそれらの機能性包装材料を使用した包装技術について紹介する。

1. パッシブバリアフィルムの開発動向（共押出多層フィルム・シート、ポリグリコール酸、ナノコンポジット系樹脂コート・バリアフィルム、透明蒸着バリアフィルム）
2. 酸素吸収性アクティブバリア材（オキシガード、エージレス・オーマック、オキシキャッチ、エパールAP）
3. 鮮度保持フィルム（防曇フィルム、MA包材、防菌防カビフィルム）
4. 機能性包材を適用した調理食品（レディーミール）の実例

【講師】 包装科学研究所 主席研究員 工学博士

葛良忠彦氏

【コーディネーター】 藤森工業(株) 研究所 樹脂加工技術グループ 主任 包装専士
ユニチカ(株) フィルムカスタマー・ソリューション部 技術サービスグループ グループ長 包装管理士

 三浦康一氏
鶴崎義之氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

5月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部